

漢字かな交じり研究Ⅰ

科目ナンバリング JLN-209
選択 2単位

河島 由弥

1. 授業の概要(ねらい)

現代日本語で書で表現する漢字かな交じりの書は、筆者のイメージによって様々な表現が可能です。しかし、その為には漢字とかなという、書き方や特徴が異なる二つを交えた様々な表現を理解しなくてはなりません。この授業では、古典(過去の名筆)の表現をヒントに、漢字かな交じりの基本やそれらの調和した豊かな文字表現について考えます。

2. 授業の到達目標

- (1) 漢字とかな、それぞれの文字の特徴を理解する。
- (2) 漢字かな交じりの書の特徴を理解する。
- (3) 漢字かな交じりの書に親しみその表現について説明できるようにする。
- (4) 漢字やかな古典の特徴を理解しそれに調和する表現をできるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

提出物・創作作品(70%)、その他、授業への取り組みなどの平常点(30%)で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜、プリントやレジュメを配布します。

5. 準備学修の内容

漢字かな交じりの書は現代日本語を表現し、そのテーマは多岐におよびます。授業時間以外、手書き文字をはじめ、活字やイラスト文字、デザイン文字などの身の回りに広がる多様な文字表現を意識するようにして下さい。

6. その他履修上の注意事項

毛筆実技や作品鑑賞中心に授業を行います、毛筆書道道具は必ず持参してください。専門的な内容を取り上げることもありますが、書道経験の有無は問いません。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(LMSにて実施)
- 【第2回】 書写から書道へー漢字かな交じり書から芸術としての書を考えるー
- 【第3回】 表現の第1歩ー線や用筆についてー
- 【第4回】 様々な古典に触れる①
表現のヒントについて考える
- 【第5回】 漢字の古典との調和①
欧陽詢「九成宮醴泉銘」
- 【第6回】 漢字の古典との調和③
褚遂良「雁塔聖教序」
- 【第7回】 作品制作に挑戦①
- 【第8回】 作品制作に挑戦②
- 【第9回】 漢字の古典との調和④
「牛欄造像記」
- 【第10回】 漢字の古典との調和⑤
王羲之「蘭亭叙」
- 【第11回】 漢字の古典との調和⑥
顔真卿「争座位文稿」
- 【第12回】 様々な古典に触れる②
創作のヒントをみつける
- 【第13回】 自由創作①
- 【第14回】 自由創作②
- 【第15回】 まとめと課題提出